

県高校総合体育大会・総合文化祭に向けて

5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変更されました。しかし、いついかなるタイミングで感染が拡大してもおかしくない状況にあり、突然、大会などの参加を辞退せざるを得ない苦境に陥る可能性があります。6月1日から始まる県高校総体・総文に参加できなくなることは何としても避けたいという思いでいっぱいです。決して気を緩めず、感染予防対策をしっかりと行ってください。

いよいよ決戦の時が来ました。気負いすぎずに、日頃からの練習の成果を発揮できるよう、仲間との協働による最大限のパフォーマンスを見せてください。本校の重点目標である「学びに向かう力の育成」は部活動においても重視される観点です。部活動で磨いてきた金沢高校生としてのスキルを、大会でも十二分に体現してくれることを望みます。心から応援しています。

副校長 島畑博之

【総合的な探究の時間】

本校では、「総合的な探究の時間」について学年ごとにねらいを設定して取り組んでいます。1年次には探究の流れやスキルを学び、2年次には前年に学んだことを活かしながら時間をかけて探究活動に取り組みます。そして3年次には成果をまとめて発表できるようにします。

3年間の中核となる2年次では、連携大学の先生方に年間を通じてサポートしていただける体制が整っています。生徒は、「校内をちょっとリノベーションするとしたら? (建築学分野)」、「大規模災害から生き延びる (化学分野)」、「若者ならではの自由な発想や想像力を生かしたビジネスプランを考えよう (起業家教育分野)」など、準備された15の分野から興味のあるものを選択し、さまざまな課題を設定していきます。

活動を進めていく中で、専門性に触れ、自身の進路選択や生き方に活かしてくれることを願いながら、今後も探究活動に力を入れていきたいと考えています。

【定期考査の有効活用】

今月、1学期の中間考査が行われました。1・2年生の定期考査は、教科書で学ぶ基礎的な知識を問う「知識・技能」と、今まで身につけた知識の活用を問う「思考・判断・表現」の問題で構成されています。この2つの区別を理解しておけば、自分の勉強の仕方を工夫して改善することができます。「知識・技能」の得点が低ければ日頃の授業の受け方や復習の仕方を見直し、「思考・判断・表現」の得点が低ければ問題演習の量を増やして応用力をつけるなど、結果に一喜一憂するのではなく、自分を向上させる「道具」として定期考査を活用してください。

【遠足を終えて】

(1年学年会より)

1年生は芝政ワールドと福井県歴史博物館に行きました。集合時間を守れたり、ごみを拾ったり、落とし物を届けてくれたり、公共マナーも守れ、うれしい驚きの連続でした。素敵な思い出を作れましたね。

(2年学年会より)

2年生は飛騨高山の町並み散策を行いました。修学旅行を見据えて昼食込みの自由散策の形を取りましたがどうでしたか? 集合、散策中の態度など金沢高校の生徒として概ね良かったと感じています。

(3年学年会より)

3年生はのとじま水族館と能登食祭市場に行きました。天候にも恵まれ、残り少ない学校行事を存分に楽しむことができました。思いがけず全国旅行支援のクーポンをもらうこともでき、水族館ではぬいぐるみを買っている生徒や、食祭市場ではちょっと高価な海鮮丼や浜焼きを楽しんだ生徒もいました。

